# スタークル顆粒水溶剤

農林水産省登録 第20811号

(三井化学クロップ & ライフソリューション(株)登録)

性状:淡青緑色水溶性細粒

毒性:普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)

危険物: 非該当 有効年限: 5 年

包装:100g×50,500g×20

有効成分:ジノテフラン(化管法第1種)・・・・・20.0%

殺虫剤分類 4 A

スタークル®は三井化学クロップ & ライフソリューション(株)の登録商標です。

# 特長

- -----○散布、潅注、セルトレイ処理など、多くの作物の様々な使用方法に対応できる、使い勝手の良い殺虫剤です。
- ○植物体内に浸透移行して速やかに効果を発揮します。
- ○野菜のコナジラミ類、果樹のコナカイガラムシ、カメムシ類に高い効果を示します。

## 適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
稲	_	カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	2000倍	60~150 <i>l</i> /10a	収穫7日前 まで	3 回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計 3回以内)
水田作物、畑作物(休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、セ イタカアワダチソウ等 の多年生雑草が優占し ている休耕田	カメムシ類	2000倍	60~150 <i>l</i> /10a	-	3 回以内	散布	3 回以内
とうもろこし (子実)	-	ムギクビレアブラムシ カメムシ類	2000倍	100~300 <i>ℓ</i> /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3 回以内
未成熟とうもろこし	-	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3 回以内
ŧŧ	-	モモチョッキリゾウムシ カメムシ類 アプラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3 回以内
ネクタリン	-	モモチョッキリゾウムシ アプラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
おうとう	_	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2000倍	200~700 <i>ℓ</i> /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2 回以内
かき	-	カメムシ類 コナカイガラムシ類 カキノヘタムシガ アザミウマ類	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	4回以内 (塗布は1回以内、 散布は3回以内)
マンゴー	-	チャノキイロアザミウマ	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
小粒核果類	_	アブラムシ類 カメムシ類 シンクイムシ類	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3 回以内
		カメムシ類 ブドウトラカミキリ	2000倍					
ぶどう	_	フタテンヒメヨコバイ	3000倍	200~700 <i>ℓ</i> /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3 回以内 (塗布は1 回以内)
		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000~ 2000倍					
あけび (果実)	-	カメムシ類	2000倍	200~700 <i>l</i> /10a	収穫14日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
キウイフルーツ	_	カメムシ類	1000~ 2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
びわ	-	カメムシ類 ビワキジラミ	2000倍	200~700 <i>l</i> /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数	
りんご	_	アブラムシ類 キンモンホソガ シンクイムシ類 ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700@ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3 回以内	
なし	_	アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類 チュウゴクナシキジラミ	2000倍	200~ 700l/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3 回以内	
かんきつ (苗木)	_	ミカンハモグリガ	5 0 倍	100mℓ/株	育苗期	5 回以内	株元灌注	5 回以內	
		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000~200倍						
かんきつ	_	ゴマダラカミキリ アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンバエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガガラムシ サンホーゼカイガラミ コナジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメヨコバイ アオバハゴロモ	2000倍	200~700¢ /10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
オリーブ	_	カメムシ類	2000倍	200~700ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2 回以內	
ばれいしょ	_	ワタアブラムシ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2 回以内	
かんしょ	_	アブラムシ類 コナジラミ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	1 回	散布	1回	
		カメムシ類	2000倍	100~300ℓ	収穫前日				
			2000~ 3000倍	/10a	まで	2回以内	散布	5回以内 (培土混和及び灌注は合計 1回以内、育苗期の株元散布は	
<b>⊦</b> マト	_	コナジラミ類	100倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポッ ト1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	鉢上時又は 定植時	10	灌注	1回以内、定植時の土壌混和は 1回以内、散布及び定植後の 株元散布は合計2回以内)	
		カメムシ類	2000倍	100~300ℓ	収穫前日	2504	#h- <del>/-</del>	5回以内 (培土混和及び灌注は合計	
			2000~ 3000倍	/10a	まで	2回以内	散布		
ミニトマト	_	ー コナジラミ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1冊 (30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	鉢上時又は 定植時	10	灌注	1回以内、育苗期の株元散布は 1回以内、定植時の土壌混和は 1回以内、散布及び定植後の 株元散布は合計2回以内)	
ブロッコリー	_	アプラムシ類 コナガ		100倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1冊 (30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	定植時	1 🛭	灌注	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は 合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は
		アプラムシ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	合計 2 回以内)	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数		
はくさい	_	アブラムシ類	2000~ 3000倍	100~3000	収穫3日前	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は 合計1回以内、		
		キスジノミハムシ ダイコンハムシ	2000倍	/10 a	まで			散布及び無人航空機散布は 合計2回以内)		
		コナジラミ類	2000~ 3000倍					3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の		
ピーマン	_	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	土壌混和は合計1回以内、 散布及び定植後の株元散布は合計		
		アザミウマ類 カメムシ類	2000倍					2 回以内)		
		コナジラミ類	2000~ 3000倍					3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の		
なす	_	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	土壌混和は合計1回以内、 散布及び定植後の株元散布は合計		
		アザミウマ類 カメムシ類	2000倍					2 回以内)		
すいか	_	アブラムシ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、 散布は2回以内)		
		コナジラミ類	2000~ 3000倍					4 回以內		
とうがらし類	_	アプラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	(育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、		
		アザミウマ類 ナスミバエ	2000倍					散布は2回以内)		
		コナジラミ類	2000~ 3000倍		収穫14日前 まで			3 回以内		
とうがらし (葉)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a		2回以内	2回以内 散布	(定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)		
		アザミウマ類	2000倍							
				アブラムシ類 コナジラミ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2 回以内 散布	散布	
かぼちゃ	_	アブラムシ類	100倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	定植前日~ 定植時	1 🛭	灌注	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)		
にがうり	_	コナジラミ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)		
セルリー	_	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)		
うり類 (漬物用)	コナジラミ類 アザミウマ類 アプラムシ類	2000倍	100~300ℓ 収穫前日	2回以内	散布	3 回以内 (定植時の土壌混和は				
(貞物市)		アブラムシ類	2000~ 3000倍	/10a	まで			1回以内、散布は2回以内)		
ズッキーニ	_	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	4回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、定植後の株元散布は 1回以内、散布は2回以内)		

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数						
きゅうり	_	コナジラミ類 アプラムシ類 アザミウマ類 ウリハムシ カメムシ類	2000~300倍	- 100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以內	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、 散布は2回以内)						
まくわうり	_	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2 回以内						
		コナジラミ類	2000~ 3000倍					3 回以内						
メロン	_	アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)						
		アブラムシ類	3000倍											
キャベツ	-	アプラムシ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ	50~ 100倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポッ ト1冊(30×60 cm・使用土壌約3ℓ) 当り0.5ℓ	定植前日~ 定植時	10	灌注	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、散布は						
		アブラムシ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内)						
	-	-	アブラムシ類	2000~ 3000倍					5回以内 (は種時の播講土壌混和は					
だいこん			-	-	ダイコンハムシ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2 回以内	散布	1回以内、は種時の全面土壌混和は 1回以内、大剤の散布は1回以内、 水溶剤の散布、液剤の散布及び 無人航空機散布は合計2回以内)			
		キスジノミハムシ	1000倍					7.10 (3) = 12.20 (3)						
わさび	_	アブラムシ類 ナトビハムシ	2000倍	100~300ℓ /10a	畑育苗期	2回以内	散布	2 回以内						
畑わさび	_	アブラムシ類 ナトビハムシ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2 回以内						
クレソン	_	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2 回以內						
	_							アプラムシ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで 2回以I	2回以内	散布	
レタス		ハスモンヨトウ	5 0 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	定植前日~	定植前日~ 1回 定植時	灌注	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、 育苗期の株元散布、定植時の 土壌混和及び育苗トレイへの 灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)						
		アブラムシ類 ナモグリバエ	50~ 100倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポット1冊(3 0×6 0 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	定植時		/在/上							
		アブラムシ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布							
非結球レタス	-	<b>-</b> タス -	_ ハスモンヨトウ 5	5 0 倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポッ ト1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5	定植前日~ 定植時	1 1	灌注	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、 育苗期の株元散布、定植時の 土壌混和及び育苗トレイへの 灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)					
		アプラムシ類 ナモグリバエ	50~ 100倍	~4.0 ℓ)当り0.5 ℓ										

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
		アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ タネバエ ネギコガ	5 0 倍	セル成型育苗トレイ1 箱またはペーパーポッ ト1冊(30×60 cm・使用土壌約1.5 ~4.0ℓ)当り0.5ℓ	定植前日~ 定植時	1 🛭	灌注	4 回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイ
ねぎ	-	アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	への灌注及び定植時の株元散布は 合計1回以内、生育期の株元灌注は
		アザミウマ類 ハモグリバエ類 トビイロヒョウタンゾウムシ クロバネキノコバエ類	400倍	0.4 ℓ/m²	生育期 但し、収 穫14日前 まで	1 🛭	株元灌注	1回以内、散布、無人航空機散布及び 定植後の株元散布は合計2回以内)
		アザミウマ類	1000倍	1 l /m²				
		アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	4回以内 (定植後の株元散布は1回以内、
わけぎ	_	アザミウマ類 ハモグリバエ類	400倍	0.4 ℓ/m²	生育期 但し、 収穫14日前 まで	1 🛭	株元灌注	生育期の株元灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2 回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、
にんじん	-	トビイロヒョウタンゾウムシ クロバネキノコバエ類	400倍	0.4 ℓ/m²	生育期但し、 収穫21日前 まで	1 🗆	株元灌注	生育期の株元灌注は1回以内、 散布は2回以内)
しゅんぎく	-	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は 合計1回以内、散布は2回以内)
チンゲンサイ	-	キスジノミハムシ アプラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は 合計1回以内、散布は2回以内)
ほうれんそう	-	アブラムシ類 ウリハムシモドキ	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
非結球あぶらな科葉菜 類(チンゲンサイ、畑わ	_	アプラムシ類	3000倍	100~ 300ℓ/10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、
さびを除く)		キスジノミハムシ	2000倍	00007100	<b>&amp;</b> (			散布は2回以内)
かぶ	-	アブラムシ類 	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
だいず	-	カメムシ類 ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布、空中散布、無人航空機散布は 合計2回以内)
あずき	_	アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、 さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげ、未成 熟そらまめを除く)	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2 回以内
未成熟そらまめ	-	アプラムシ類 ハモグリバエ類 カメムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
えだまめ	-	カメムシ類 アプラムシ類 ハモグリバエ類 ダイズサヤタマバエ	2000倍	100~300¢ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布、空中散布、無人航空機散布は 合計2回以内)
		フタスジヒメハムシ	3000倍	100 2004	□##□			- H- H- M-
未成熟ささげ	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
実えんどう	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウラナミシジミ カメムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
さやえんどう	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウラナミシジミ カメムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
さやいんげん	-	コナジラミ類 アプラムシ類 ハモグリバエ類 カメムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
モロヘイヤ	_	アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
オクラ	-	アブラムシ類 フタテンミドリヒメヨコバイ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
しょうが	-	クロバネキノコバエ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
らっきょう	-	アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
		クロバネキノコバエ類	1000倍	1 l /m²	生育期但し、 収穫14日前	1回	株元灌注	3 回以内
にら	-	ネギアザミウマ	400倍	0.4 l/m²	まで			3回以内 (生育期の株元灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		ネギアザミウマ アブラムシ類	2000倍	100~300 <i>ℓ</i> /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	BX (10 0 = 145)(13)
アスパラガス	-	アザミウマ類 ジュウシホシクビナガハムシ コナジラミ類 カメムシ類	2000倍	100~800 <i>ℓ</i> /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3 回以内
		アブラムシ類 テンサイモグリハナバエ	2000~ 3000倍 1000~	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	
		カメノコハムシ	2000倍	F.0./				3 回以内
てんさい	_	カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~ 200倍	5 ℓ / ペーパーポット 6 冊 (2.5 ℓ / m²)	移植前	1 回	灌注	(灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		アプラムシ類 テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ	100~ 240倍	6 ℓ / ペーパーポット 6 冊 (3 ℓ / m²)		- <b>-</b>		
きゅうり(葉)	-	コナジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 <i>ℓ</i> /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
きゅうり(花)	-	コナジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
バジル	_	コナジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
しそ科葉菜類 (しそ、バジルを除く)	-	アプラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2 回以内
しそ(花穂)	-	アプラムシ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
しょくようほおずき 食用ミニバラ 食用カーネーション 食用かな単一 食用パンジー 食用トレニア 食用をなでしこ 食用プリムラ 食用エキザカム 食用せんにちこう	-	アプラムシ類 コナジラミ類	3000倍	100~300ℓ ∕10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
食用コスモス	-	アブラムシ類 コナジラミ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく	-	アプラムシ類 コナジラミ類	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
しそ	-	アブラムシ類 ウリハムシモドキ	3000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
なんてん(葉)	-	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
すいぜんじな	-	アブラムシ類	2000倍	100~300 <i>l</i> /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
アマランサス (茎葉)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 <i>ℓ</i> /10a	収穫3日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
ふき	-	コナジラミ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	2 回以内	散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、 散布は2回以内)
せり	水田	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
せり(水耕栽培)	ガラス室等の 施設	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3 回以内
オリーブ(葉)	-	カメムシ類	2000倍	200~700 <i>l</i> /10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2 回以内
茶	-	チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスミカメ コミカンアプラムシ	2000倍	200~400 <i>l</i> /10a	摘採7日前 まで	2回以内	散布	2 回以内
さとうきび	-	アプラムシ類 カンシャコパネナガカメムシ サトウキビチビアザミウマ	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	5 回以内 (粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び 水和剤は合計
いね科牧草	-	アブラムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3 回以内
花き類・観葉植物	-	アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 3000倍	100~300ℓ /10a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内 (土壌混和は
(きくを除く)	_	ハモグリバエ類	1000倍	1 ℓ / m²			灌注	1回以内)
		アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 3000倍	100~3000				5 回以内
きく	-	カメムシ類	2000倍	/10a	発生初期	5 回以内	散布	(土壌混和は 1回以内)
		ハモグリバエ類	1000~ 2000倍	1 ℓ / m²				
樹木類(つつじ類、 つばき類を除く)	-	ケムシ類	2000倍	100~700ℓ /10a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内
		ケムシ類	2000倍	100~700 <i>ℓ</i> /10a		5 回以内	散布	5 回以内
つばき類	-	チャドクガ	100倍	0.5~2ℓ/樹 (但し、220ℓ /10aまで)	発生初期	2回以内	株元灌注	(株元灌注は 2 回以内)
つつじ類	_	ツツジグンバイ ケムシ類	2000倍	100~300ℓ /10a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内
		1	I .		1	i e	1	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コナカイガラムシ類	20~40g/樹	発芽前~ 発芽期	1回	本剤1g当り水 1mℓの割合で 混合し、主幹か ら主枝の粗皮を 環状に剥いだ部 分に塗布する。	4 回以内(塗布は1回以内、散布は3回以内)
27.5	コナカイガラムシ類	ムシ類 20∼40g/樹	幼果期まで 但し、 収穫30日 前まで	1.0	本剤1g当り水 1mℓの割合で 混合し、主幹か	3 回以内(塗布は1 回以内)
ぶどう	クビアカスカシバ	40g/樹		1回	ら主枝の粗皮を 環状に剥いだ部 分に塗布する。	3 四以内(至布は1回以内)

### 使用上の注意事項

- ●使用量にあわせ薬液を調製し、使いきってください。
- ●ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさけてください。
- ●つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- ●本剤をセル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から灌注してください。また、本剤が土壌に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさけてください。なお、高温時など極度に土壌が乾燥している場合には、葉緑が退色するなど薬害を生じるおそれがあるので、本剤を処理する予定の苗は、適切な水分および温度管理に努めてください。
- ●かんきつの苗木に用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用してください。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的 に処理してください。
- ●本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落としてください。
- ●水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ○ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
- ○関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供しミツバチの危害 防止に努めてください。
- ●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- ●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

#### 安全使用上の注意事項

- ●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- ●街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼ さないよう注意を払ってください。

#### 水産動植物に係る注意事項

- ●水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ●散布後は水管理に注意してください。
- ●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して ください。

#### 保管に関する注意事項

**●**直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。